別表１

# 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施　設　名 | 岩室地域児童館 | | |
| 管 理 者 名 | シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 | 指 定 期 間 | 令和5年4月1日　～　令和10年3月31日 |
| 担　当　課 | 西蒲区役所健康福祉課 | | |
| 所　在　地 | 新潟市西蒲区和納１９６６番地７ | | |
| 根 拠 法 令 | 児童福祉法 | | |
| 設 置 条 例 | 新潟市児童館条例 | | |
| 施 設 概 要 | 敷地面積　1,928.88㎡　　延床面積　　485.50㎡<br>建築構造　軽量鉄骨平屋建て<br>構成施設の内容<br>１階　事務室（24.30㎡）、図書室（39.69㎡）、集会室（85.06㎡）、<br>遊戯室（89.10㎡）、乳幼児室（40.50㎡）、家庭科室（28.35㎡）他 | | |

## 施　設　設　置　目　的

児童福祉法第４０条に定める児童厚生施設として、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し及びその情操を豊かにする。

## 管　理　・　運　営　に　関　す　る　基　本　理　念　，　方　針　等

【基本方針】

(1) 児童の健全育成をはじめ，ボランティア活動や地域社会と協力連携しながら，地域住民に親しまれる児童館とする。
(2) 児童がいつでも自由に利用できる，安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに，児童に健全な遊びや情報の提供を行う。

【運営する事業の内容】

① 健全な遊びを通した児童の創造性の育成
② 遊びを通した運動に親しむ習慣の形成
③ 体力増進指導を通した社会性の育成及び心と身体の健康増進
④ 子どもの参画を促す自主性の育成
⑤ 中学生・高校生等の自主的な活動に対する支援
⑥ 地域住民による児童に関するボランティア活動，地域組織活動の機会提供及び育成支援
⑦ 子育てに対する相談，情報や交流の場の提供等，地域における子育て支援
⑧ 地域児童の健全育成に必要な活動の実施
⑨ 施設設置地域以外に出かける移動児童館の実施

| 視　　点 | 評価項目 | 評価指標 | 実績 | 評価※ | 評価コメント※ |
|---|---|---|---|---|---|
| 市　　民 | 広報の充実 | 行事だより、ホームページによる、児童館活動に関する情報発信を2回以上/月 | HP１回/月<br>SNS３回/月 | A | ホームページ、SNS等を活用し、幅広く広報活動を行っている。 |
| | 基準利用者数の達成 | 入場者数(年)<br>41人×359日　15,000人以上 | 50人×359日<br>17578人 | A | 評価指標を上回った。 |
| | 利用者の満足度 | 利用者満足度アンケートで「満足」又は「やや満足」の者が7割以上 | 9割以上の利用者から満足の評価をいただいた | A | アンケート結果から満足度の高さが伺える。 |
| | 苦情・要望に対する対応 | 原則1週間以内の回答。区へ当日報告。<br>苦情・要望対応マニュアルの整備。 | 苦情発生時、遅延なく報告・対応 | B | マニュアルが整備されており、苦情発生時も延滞なく報告されている。 |
| | 事業の実施 | 乳幼児、小中高向け事業実施4回以上/月 | 各１回以上/週 | A | 乳幼児向け事業、小中高向け事業のいずれも評価指標を上回っている。 |
| 財　　務 | 業務の効率化 | 施設利用者1人当たり運営経費(年)980円以下 | 1,052円 | B | 物価高騰等の影響による。 |
| 業　　務 | 業務仕様書等に定める事項の遵守 | 業務仕様書等に定める事項の遵守 | 仕様書の事項を遵守した | B | 仕様書に基づき業務を行っている。 |
| | 設置目的の理解 | 移動児童館実施(年)　12回 | 13回実施 | B | 地域との連携を図り、良好な関係を築いている。評価指標を上回っている。 |
| | 情報の伝達と共有 | 苦情・事故発生時の早期報告 | 遅滞なく報告 | B | 延滞なく実施されている。 |
| | 安心安全の確保 | 防災訓練等実施2回以上/年<br>AED講習1回以上/年<br>緊急時の対応マニュアルの作成 | 防災・防犯訓練3回/年　講習１回/年　緊急時マニュアル作成済 | B | 防災訓練・AED講習、マニュアル作成すべて指標を達成した。 |
| | コンプライアンスの確立 | 児童福祉法、新潟市児童館条例の遵守、個人情報取り扱いに関するマニュアルの整備 | マニュアル整備あり | B | マニュアルが整備されている。 |
| 人　　材 | 配置人員の水準維持・育成の適切性 | 業務仕様書に定める人員配置<br>理念や目標の周知徹底、知識や技能向上に資する研修を年2回以上実施。 | 各種研修会は行われるが、なかなか全員参加は難しい。職員の適切な育成のため今後は調整できるようにすることが課題 | B | 積極的な研修等への参加による、人材育成に期待する。 |

【評価基準】
A：要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている
B：要求水準（評価指標）が達成されている
C：要求水準（評価指標）が達成されていない

| 指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等） |
| --- |
| 概ね、要求水準が達成されていると考える。研修体制については課題が残っている。予算、人員の問題で研修会への参加が難しく、社内での研修等もないため、ほとんどの職員が自己研鑽・スキルアップの機会を館内での自主研修という形で止まっている。より良い児童館運営につなげるために研修機会の確保に努めていきたい。移動児童館もコンスタントに開催し、どの回においても好評を得ている。今後もこどもを中心とした地域づくりに取り組んでいきたい。 |

| 所管課による総合評価（所見） |
| --- |
| 評価の視点のうち「市民」については，5項目中4項目において評価指標を上回っている。SNSによる広報や各種実施事業を充実させ、多くの児童・保護者等から利用されており、アンケート結果からも満足度が高い事が確認されていることを評価する。また，その他の視点においても，求められる水準は達成している。引き続き、地域の理解と協力を得ながら、計画的な実施につなげていくことを期待する。 |